

市指定・国分寺鐘楼門



<http://digitalarchiveproject.jp/information/市指定・国分寺鐘楼門>



〈市指定〉昭和 33 年 9 月 27 日

〈所有者〉国分寺

〈所在地〉総和町 1 丁目 83 番地

〈時代〉安土桃山時代(16 世紀)

〈員数〉1 棟

鐘楼門(1 棟)重層入母屋六脚門、銅平板葺、桁行 3.045m、梁間 2.4m

屋根はもと柿(こけら)葺(ぶき)であったが、昭和 30 年に銅板葺とした。屋根の軒は 1 つ軒、まだら垂(たる)木(き)、妻は木(き)連(づれ)格(ごう)子(し)。上層は円柱、簡素で力強い組物を持ち、勾欄(こうらん)を廻す。下層は角柱 6 本、面取りがある。

梵鐘は永正 11 年(1514)の古銘を存し、もと荒城郷三日町十王堂の鐘であった。宝暦 14 年(1764)大萱(おおがや)村横山作助が、改鑄して当山に寄進した。

国分寺の晩鐘は飛州 8 景の随一として、国分靈地絶纖塵 雁塔今経幾許春 好是楼前視聴楽 暮钟声裏月清新(国分寺の境内は古びた三重塔がそびえ静かである。暮れゆけば鐘が鳴りわたり、月影清く美しい。)とある。

参考文献

『高山の文化財』47～48 頁 高山市教育委員会発行 平成 6 年



001_① 鐘樓門・遠景001



002_① 鐘樓門・遠景002



003_① 鐘樓門・遠景003



004_① 鐘樓門・遠景004



005_① 鐘樓門・遠景005



006_① 鐘樓門・遠景006



007_① 鐘樓門・遠景007



008_① 鐘樓門・遠景008



009_① 鐘樓門・遠景009



010_① 鐘樓門・遠景010



011_① 鐘樓門・遠景011



012_② 鐘樓門・建物本体001



013_② 鐘樓門・建物本体002



014_② 鐘樓門・建物本体003



015_② 鐘樓門・建物本体004



016_② 鐘樓門・建物本体005



017_② 鐘樓門・建物本体006



018_② 鐘樓門・建物本体007



019_② 鐘樓門・建物本体008



020_② 鐘樓門・建物本体009



021_② 鐘樓門・建物本体010



022_② 鐘樓門・建物本体011



023_③ 鐘樓門・建物詳細001



024_③ 鐘樓門・建物詳細002



025_③ 鐘樓門・建物詳細003



026_③ 鐘樓門・建物詳細004



027_③ 鐘樓門・建物詳細005



028_③ 鐘樓門・建物詳細006



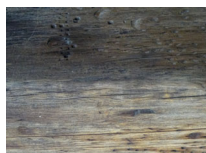
029_③ 鐘樓門・建物詳細007



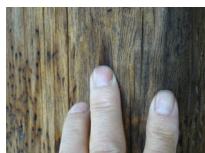
030_③ 鐘樓門・建物詳細008



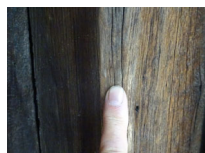
031_④ 鐘樓門・面取り001



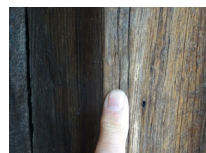
032_④ 鐘樓門・面取り002



033_④ 鐘樓門・面取り003



034_④ 鐘樓門・面取り004



035_④ 鐘樓門・面取り005



036_④ 鐘樓門・面取り006



037_④ 鐘樓門・面取り007



038_⑤ 鐘樓門・説明板001



039_⑤ 鐘樓門・説明板002



040_⑤ 鐘樓門・説明板003